

## 104 仮庵祭でのイエス(1)

ヨハネによる福音書 7 : 10~24

10 しかし、(イエスの) 兄弟たちが (仮庵の) 祭りに (エルサレムに) 上って行ったとき、イエス御自身も、人目を避け、隠れるようにして (エルサレムに) 上って行かれた。

11 (その) 祭りのときユダヤ人たちはイエスを捜し、「あの男はどこにいるのか」と言っていた。  
→ (リビング・バイブル) ユダヤ人の (宗教的) 指導者たちは、祭りの間にイエスを見つけ出してやろうと思ひ、「だれかイエスを見かけた者はいないか」と、やっきになって (→躍起になって : 必死になって) 尋ね回りました。

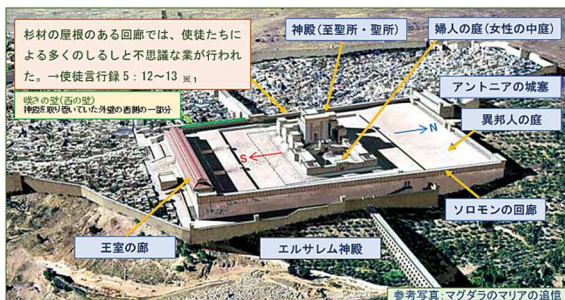
12 群衆の間 (→Among the crowds[NIV]→通常、crowdは単数形ですが、複数形で表すことでいくつかのグループがいたことを表している) では、イエスのことがいろいろとささやかれていた。  
「良い人だ」と言う者もいれば、「いや、群衆を惑わしている (偽預言者だ)」と言う者もいた。

13 しかし、ユダヤ人 (の指導者) たちを (目を) 恐れて、イエスについて公然と語る者はいなかった。

14 祭り (→仮庵祭は、ティシュリ=第7の月=9月~10月の1週間催される) も既に半ばになった (4日目の) ころ、イエスは神殿の境内に上って行って、教え始められた。

→神殿:エルサレムにあるユダヤ教の礼拝の場で、ヘロデ大王はユダヤの民衆の人気を得ようと、神殿を大幅に拡張した。

### 【参考】エルサレム神殿



※1 : 使徒言行録 5 : 12~13

使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議な業が民衆の間で行われた。一同は心をつ一つにしてソロモンの回廊に集まっていたが、ほかの者はだれ一人、あえて仲間に加わろうとはしなかった。しかし、民衆は彼らを称賛していた。

15 ユダヤ人たちが驚いて、「この人は、(正規にラビ的教育の) 学問をしたわけでもないのに、どうして聖書をこんなによく知っているのだろう」と言うと、

16 イエスは答えて言われた。

「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしになった方 (=父なる神) の教えである (→イエスの神性宣言) 。

→わたしをお遣わしになった方 (マルコ 9 : 37、48、ヨハネ 1 : 33、4 : 34、5 : 24、30、6 : 38、39、7 : 16、28、8 : 26、29、9 : 4、13 : 20、15 : 21、16 : 5)

17 この方の御心を行おうとする者は、わたしの教えが神から出たものか、わたしが勝手に話しているのか、分かるはずである。

18 自分勝手に話す者は、自分の栄光を求める。しかし、自分をお遣わしになった方の栄光を求める者は真実な人であり、その人には不義がない。

→(リビング・バイブル) 自分の意見だけをまくし立てる人は、実はわが身がほめられたい一心なのです。しかし自分をお遣わしになった方の栄誉を求める人は、正直者です。

19 モーセはあなたたちに律法を与えたではないか。ところが、あなたたちは（モーセの律法を知っていることを誇りにするだけで）**だれもその律法を守らない。**

（もし、あなたたちがモーセの律法を守っているならば、あなたたちは、わたしを受け入れたはずである。）**なぜ、わたしを殺そうとするのか。」**

20 群衆（→仮庵祭のために、ガリラヤや他の地方からエルサレムにやって来た巡礼者たち）が（ユダヤ人の指導者たちに同調して）答えた（→the crowd answered）。

「あなたは悪霊に取りつかれている。だれがあなたを殺そうというのか。」

21 イエスは答えて言われた。「**わたしが一つの業を行なったというので、あなたたちは皆驚いている。**

→一つの業＝ヨハネ5：1～18（安息日にイエスが、ベトザタの池で病人をいやした）

22 しかし、モーセはあなたたちに割礼を命じた。——もっとも、これはモーセからではなく、族長たちから始まったのだが（→実際、割礼の習慣はモーセの律法より古くからあったのですが）——**だから、あなたたちは安息日にも割礼を施している。**

→割礼は、男子が生まれて八日目に、男子の性器の包皮を切り取るユダヤ教の儀式であり、新生児が「アブラハム契約」に参加してユダヤ人共同体の一員になったことを示す儀式で、同時に命名がされる。

23 **モーセの律法を破らないようにと、人は安息日であっても割礼を受けるのに、わたしが安息日に（病にある者の）全身をいやしたからといって（なぜ）腹を立てるのか。**

24 **うわべだけで裁くのをやめ、正しい裁きをしなさい。」**

→イエスは、安息日に割礼を行うことが許されているのなら、体の不自由な人を自分がいやした（ヨハネ5：1～18）ように、全身（体全体）に関わることも割礼と同じように認めるべきだ（肉体の癒しは安息日の規定に優先する）と主張している。

→彼ら（群衆）の姿

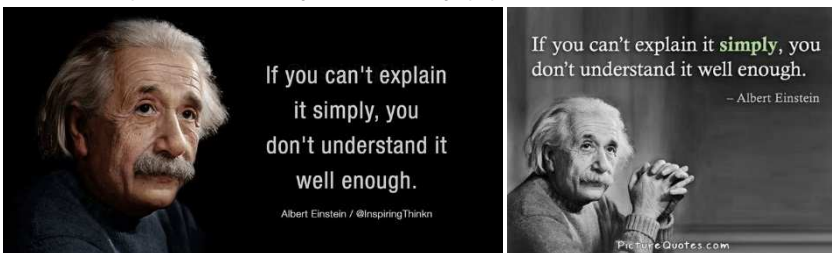
- ・律法の意図を理解しないで、外面の行為にこだわる（表面的に人を裁いている）。
- ・自分たちは正しいと思い込んでいる。
- ・イエスには悪霊が付いていると思っている。

今、私たちにとって最も大切なことは、聖霊に導かれて、御言葉（聖書）を学ぶことである。

#### 【参考】講解説教

聖書の御言葉（内容）を、その文脈や原語の意味、聖書執筆時代の歴史的・社会的・文化的状況などをふまえて解釈し、説き明かす説教。

#### 【参考】If you can't explain it simply, you don't understand it well enough.



理解するだけでなく、それを平易な言葉に落としこんで相手に伝えることができなければ、本質を理解したとはいえない。

If you can't explain it to a six year old, you don't understand it yourself.

（6歳の子供に説明できなければ、理解したとは言えない。）